2025年8月30日
【報道関係者各位】　松坂大輔 Baseball Academy PR事務局

《イベントレポート》

元メジャーリーガー松坂大輔さんが北海道で野球教室を開催！

松坂大輔 Baseball Academy
～生きがいを、愛そう。～presented by ソニー生命

野球指導とトークショーを通じて、子どもたちが夢と“生きがい”を見つける夏
HFL所属「石狩レッドフェニックス」現役選手も特別講師として登場
松坂さん「生きがいは野球。次の世代に感謝の気持ちとして野球を伝えていきたい」

ソニー生命保険株式会社（代表取締役社長：髙橋 薫）は、2025年8月30日、少年野球チームを対象に、元メジャーリーガー松坂大輔さんを特別講師として迎える野球教室「松坂大輔 Baseball Academy ～生きがいを、愛そう。 ～presented by ソニー生命」を北海道にて開催いたしました。昨年度に引き続き、今年度も3会場での開催を予定しており、第1回は大阪にて実施。今回の北海道開催は本年度、第2回目となります。

当日は、2022年に発足した北海道を拠点とする独立リーグ“北海道フロンティアリーグ”に所属する「石狩レッドフェニックス」の現役選手たちも講師として参加し、松坂さんとともにキャッチボールやピッチング、バッティングなどの実技指導を実施。トークセッションや記念撮影、サイン会やオリジナルノベルティの配布なども行われ、会場は終始笑顔に包まれました。最後には、松坂さんより「感謝の気持ちを忘れずに、これから先の人生でどんな困難に出会っても、頑張って乗り越えられるものを必ず見つけられるはずです。」という熱いエールが送られ、子どもたちの胸に残る、かけがえのない夏の思い出となりました。

松坂さん「大人になっても基礎練習を大事にする気持ちを忘れないでほしい」子どもたちにエール送る

北海道で開催された今回の野球教室には、本野球教室として初めて3チーム合同で編成され、30名の選手が参加。松坂さんがグラウンドに姿を現すと、子どもたちは大きな拍手と笑顔で迎え、「本日はよろしくお願いします！」と元気な声が響き渡り、会場は一気にあたたかな空気に包まれました。

松坂さんは「小さい頃から基礎練習を大事にする気持ちを、大人になっても忘れないでほしい。プロ野球選手を目指すうえでも、基礎を意識して日々の練習に取り組むことが大切です。」と語り、力強く激励しました。

オフィシャル素材ダウンロードURL　共通パスワード：【baseball】

※素材は報道目的以外にご使用されないようお願いします。

オフィシャルスチール【 https://x.gd/QlKWI 】オフィシャルムービー【 https://x.gd/V530O 】

■報道関係者様のお問い合わせ先■
松坂大輔 Baseball Academy PR事務局（株式会社マテリアル内）
担当：那須（080-6525-4572）、小林（080-5533-1472）
TEL： 03-5459-5490 / FAX：03-5459-5491　MAIL：bp1@materialpr.jp

キャッチボールからピッチング・バッティングまで！
「甲子園でホームランを打ったこともあるんだよ！」と高校球児時代のエピソードを話す場面も

お待ちかねの野球教室がいよいよスタート。まずは全員でキャッチボールを行い、松坂さんが基本の投げ方からボールの受け方まで、丁寧に指導しました。「上手く投げられなくてもいいから、最初は軸足でバランスよく立てることを意識しよう。」とアドバイスすると、子どもたちは松坂さんに教わったポイントを意識しながら、集中した面持ちで投げ方を何度も調整し、キャッチボールに取り組みました。今回は本教室初となる、3チーム合同での練習ということもあり、最初は子どもたちも緊張の面持ちでしたが、松坂さんとキャッチボールをするにつれ徐々に緊張がほぐれていき、「声出していこう！」とお互いを鼓舞するシーンも。また松坂さんは「自分のグローブのどこに芯があるのか知っておかないといけない。良いところでボールを取ると手が痛いかもしれないけど、芯で取って良い音を出してあげて！」というアドバイス。3チームの選手全員で「みんな芯で取るよー！」 と声を出し合い、心温まる場面も見られました。

ピッチング指導では、石狩レッドフェニックスの土居選手、宮川選手がマウンドに立ち、デモンストレーションを実演。「ピッチングで大事なのはバッターに対して胸を見せないこと。身体を開かないようにし、踏み出す足はお尻の横に目がついているイメージでキャッチャーに向け続けてほしい。上達すると自分なりのフォームが出てくるけれど、まずは基本のステップを大切に練習していきましょう。」と説明し、子どもたちは真剣に耳を傾けました。さらに「母指球に力を入れることが大事。人は楽をしようとすると、かかとに体重が乗る“後ろ重心”になってしまう。普段から母指球に力を込める癖をつけてほしい。僕も現役時代、ピッチングでもバッティングでも常に意識していました。楽をしない、という習慣を身につけることがとても大切です。」と、自身の経験を交えてアドバイスしました。

バッティング指導では、松坂さんがデモンストレーションでティーバッティングを披露。バットの握り方からスイングのタイミング、力の入れ方まで分かりやすく解説しました。「手で取るのか、足で取るのか、タイミングの取り方を意識してほしい。バッティングの際、打球が飛んでいく方向ばかりを見てしまいがちだけど、大切なのはインパクトの瞬間をしっかりと見ること。難しいと思うけど、インパクトを見てスイングすることを意識してみてほしい。」とアドバイスしました。また、松坂さんは子どもたちに「横浜高校時代、４番打者として甲子園でホームランを打ったこともあるんだよ。当時鹿児島実業ですごいピッチャーだった杉内俊哉選手からもホームランを打ったし、ピッチングもバッティングも得意だったんだよ！」と高校球児時代のエピソードをお茶目に語り、会場は笑いに包まれました。

終始笑顔と集中にあふれた雰囲気の中で行われた本格的な野球教室。子どもたちにとって、プロの技術と熱意に触れる貴重なひとときとなりました。

松坂さんが子どもたちの質問に本音で回答！
「変化球は全部キャッチボールで覚えました！ 」と少年野球時代の練習方法を伝授！

野球教室のあとは、子どもたちや保護者からの質問に松坂さんが答えるトークショーを実施。現役時代の経験の思い出などを交えながら、野球に対する想いや夢を叶えるために大切にしてきたことについて語りました。

変化球を覚えるにはキャッチボールが大事！

「変化球を覚えるにはどうしたらいいですか？」という質問に「僕は全部キャッチボールで覚えました。まずはマウンドを使わずにキャッチボールで投げてみて、ある程度コントロールできるようになったらブルペンでキャッチャーに受けてもらう。そして『試合で使えそうか』を確認してから、本番で試していました。キャッチボールという練習の中で、投手は変化球を覚えられるし、野手なら左右に投げ分ける練習にもなります。」と、基本を大切にする重要性を語りました。

現役時代に苦手だった選手は「ファウルで粘ってフォアボールを狙う中距離バッター」

苦手な選手はいましたか？という無邪気な質問には「ホームランバッターはそこまで苦手ではなかったです。外国人選手のように豪快に打ってくるタイプは抑えるのが比較的得意で、対戦も楽しかったですね。逆に苦手だったのは、日本ではオリックスの谷さん、ロッテのクリーンアップにいた福浦さんなんかは本当に嫌でした。アメリカに行ってからも同じで、しぶとく右方向にもヒットを打ってくる右打者が一番厄介でしたね。ヤンキースのデレク・ジーターや、当時テキサス・レンジャーズにいたマイケル・ヤング。彼なんかは毎年イチローと200本安打を争っていたような選手で、やっぱり打ち取るのは難しかったです。左打者は比較的得意だったんですが右打者は、最後まで苦手でしたね。」と当時を振り返りながら語りました。

松坂さんにとっての生きがいはやはり「野球」
「野球ができる環境は当たり前ではない。感謝の気持ちを忘れずに。」

クロージングでは、未来ある子どもたちに松坂さんより激励が送られました。「練習はただやるだけ、やらされるだけでは自分のためになりません。自分が目指す姿をイメージしながら取り組んでください。これから中学・高校と進む中で、『意味がない練習だな』と思うものもあるかもしれませんが、そこで終わらせず、自分なりに意味を見出して取り組んでみてほしいと思います。野球ができるという環境は決して当たり前ではなく、多くの人のサポートがあってこそ成り立っていて、それは学校に通えているということも同じです。だからこそ、感謝の気持ちを忘れずに、恥ずかしくても『ありがとう』という言葉をしっかり伝えてください。その気持ちさえあれば、これから先の人生でどんな困難に出会っても、頑張って乗り越えられるものを必ず見つけられるはずです。」と未来ある子どもたちに激励を送りました。

最後に新スローガンである「生きがいを、愛そう。」にちなんで、松坂さんにとっての「生きがい」について質問が投げかけられると、迷わず「野球ですね、やはり。」と即答。「野球を覚えて、野球に育ててもらいました。自分自身が野球を楽しんできたし、これからも人生は続いていくけれど、やはり野球に生きがいを感じています。これまで野球に育ててもらったという思いを、次の世代に感謝の気持ちとして伝えていきたい。」と語りました。

ソニー生命保険 宮西隆行・西野圭がイベントへの想いをコメント
ライフプランナーも地域の子どもたちを応援！

ソニー生命株式会社の札幌ライフプランナーセンター第2支社 支社長 宮西隆行が登壇し、本イベントへの想いや取り組みについて挨拶を行いました。今回の開催について「昨年に続き5回目の開催地として札幌で開催できたことを嬉しく思います。 」と語り、子どもたちに向けては「今日一日、野球を通じて生きがいを感じられる素晴らしい日になれるようサポートさせていただきます。 」とあたたかいメッセージを贈りました。

教室の最後には、ソニー生命保険株式会社札幌ライフプランナーセンター第1支社 支社長 西野圭より締めの挨拶を行いました。「今日は松坂選手から本当にいろんなことを学べたと思います。野球は優勝することだけが全てではありません。プロセスの中で得られる成長や経験が、みなさんを強くしてくれるはずです。保護者の方々にとっては、子どもたち一人ひとりが生きがいだと思いますので、ぜひ夢に向かって全力で頑張ってください。きっと次の“怪物選手”も今日の教室から生まれると信じています。」とコメントしました。

登壇者情報

松坂大輔　(まつざか だいすけ)

1980年9月13日生まれ。東京都出身。横浜高校野球部エースとして春夏の甲子園を連覇。ドラフト1位で西武ライオンズ入団後、メジャーリーグのボストン・レッドソックス、クリーブランド・インディアンス、ニューヨーク・メッツで活躍。2014年には福岡ソフトバンクホークスへ入団、中日ドラゴンス、西武ライオンズにて活動後、2021年に現役を引退。現在は野球解説者、野球評論家、スポーツキャスターとして活躍中。

協力独立リーグ

石狩レッドフェニックス

2020年5月8日に設立された、北海道・石狩市を拠点とする独立リーグ球団です。
北海道フロンティアリーグ（HFL）に所属し、「石狩から、新たな野球の歴史がはじまる」というキャッチフレーズのもと、活動を展開しています。プロ野球選手の輩出だけでなく、若手人材の力を活かした地域の活性化や、相乗効果の創出を目指しています。

開催概要

【開催日時】　2025年8月30日（土） 9:00～12:00 [8:30 ～ 報道受付開始]
【開催場所】　マルチドーム札幌 ［〒003-0876 北海道札幌市白石区東米里2077］
【主催】　ソニー生命保険株式会社
【講師】　松坂大輔さん　【協力独立リーグ】石狩レッドフェニックス
【教室参加チーム】オール清田野球スポーツ少年団 / 厚別桜台パワーズ / 白菊ファイターズ　※今回は3チーム合同での編成
（少年軟式野球チーム／活動地域：北海道札幌市）
【当日の内容】 松坂大輔さんによるご挨拶 / 野球教室【キャッチボール / ピッチング/ バッティング】
トークショー / フォトセッション / 囲み取材 / お土産手渡し＆サイン会

ソニー生命保険株式会社について

当社は、「お客さまの『生きがい』ある人生をお守りする」をビジョンに掲げ、保険・金融のプロフェッショナルであるライフプランナーが、一人ひとりのお客さまにあわせたオーダーメイドの保障を提案する「コンサルティングセールス」、生涯にわたりお客さまの保障の点検・アドバイスを行う「コンサルティングフォロー」を提供しています。これからも、お客さまの生きがいある人生に向き合い、生命保険のみならず、人生を相談できる企業として信頼を積み重ねながら、質の高いサービスを提供していきます。
公式サイト：https://www.sonylife.co.jp/

生きがいを、愛そう。
ソニー生命

松坂大輔 Baseball Academyについて

松坂大輔 Baseball Academyとは、「野球を通じて子どもたちの心身の成長もサポート」をテーマとし、松坂大輔さんを講師に招いて開催する野球教室です。キャッチボールの重要性をはじめ、野球の技術向上はもとより、精神性も磨きながら、子どもたちのみらいをサポートします。
特設サイト：https://www.sonylife.co.jp/land/baseballacademy/

松坂大輔 BaseBall Academy
presented by ソニー生命